

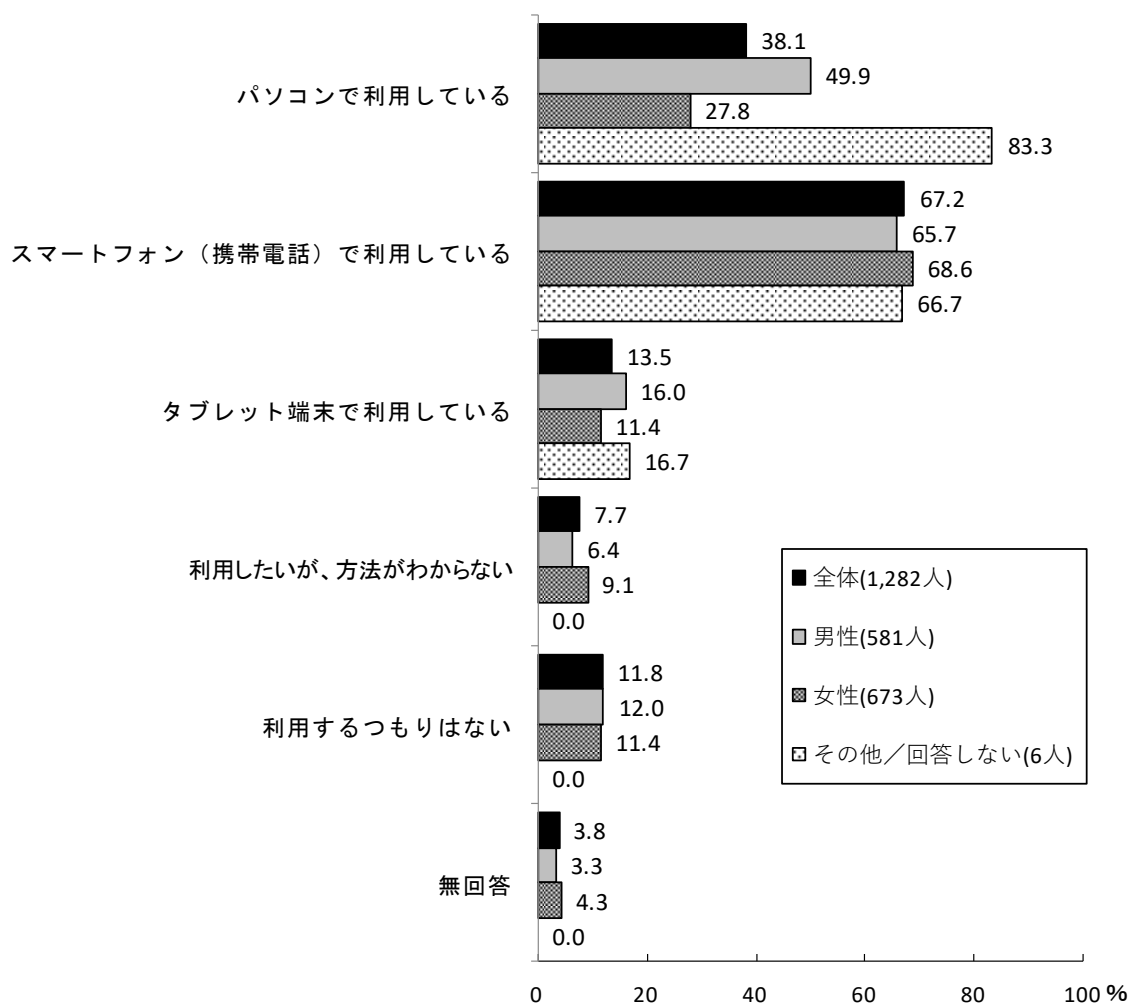
## 6 市民生活について

### 6-1 インターネットの利用状況

◆「スマートフォン（携帯電話）で利用している」67.2%◆

問 19 あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。  
あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

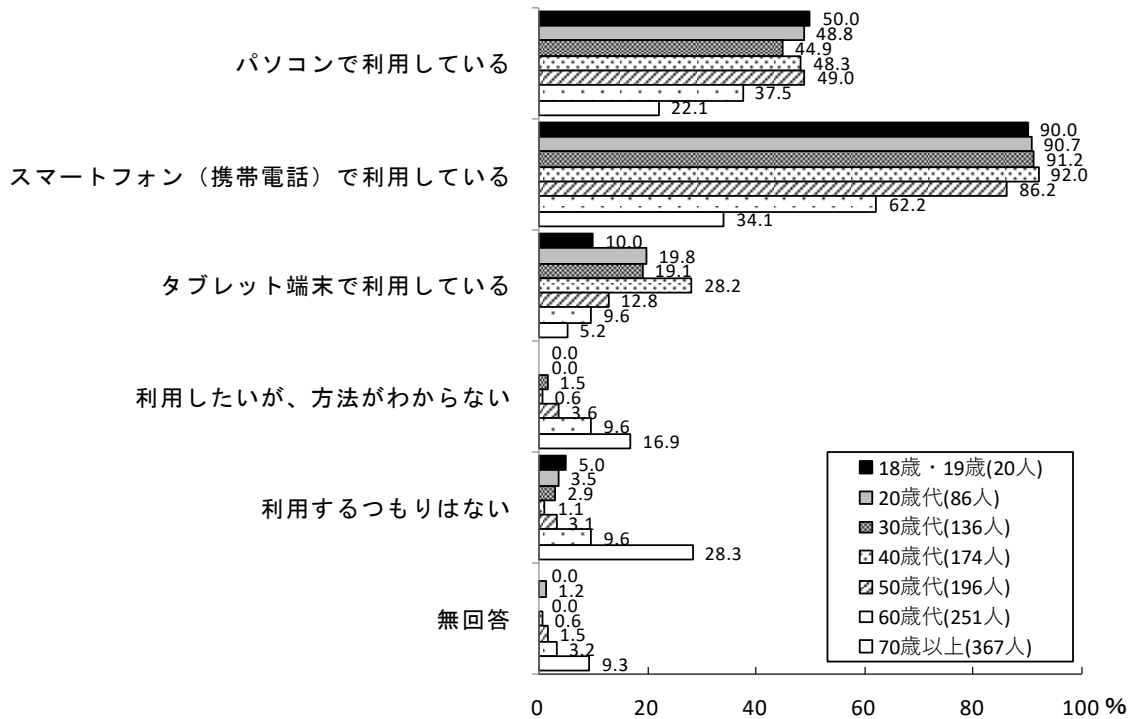
インターネットの利用状況（全体・性別）



全体で見ると「スマートフォン（携帯電話）で利用している」が67.2%と最も高く、次いで「パソコンで利用している」が38.1%、「タブレット端末で利用している」が13.5%と続いています。なお「利用したいが、方法がわからない」が7.7%、「利用するつもりはない」が11.8%となっています。

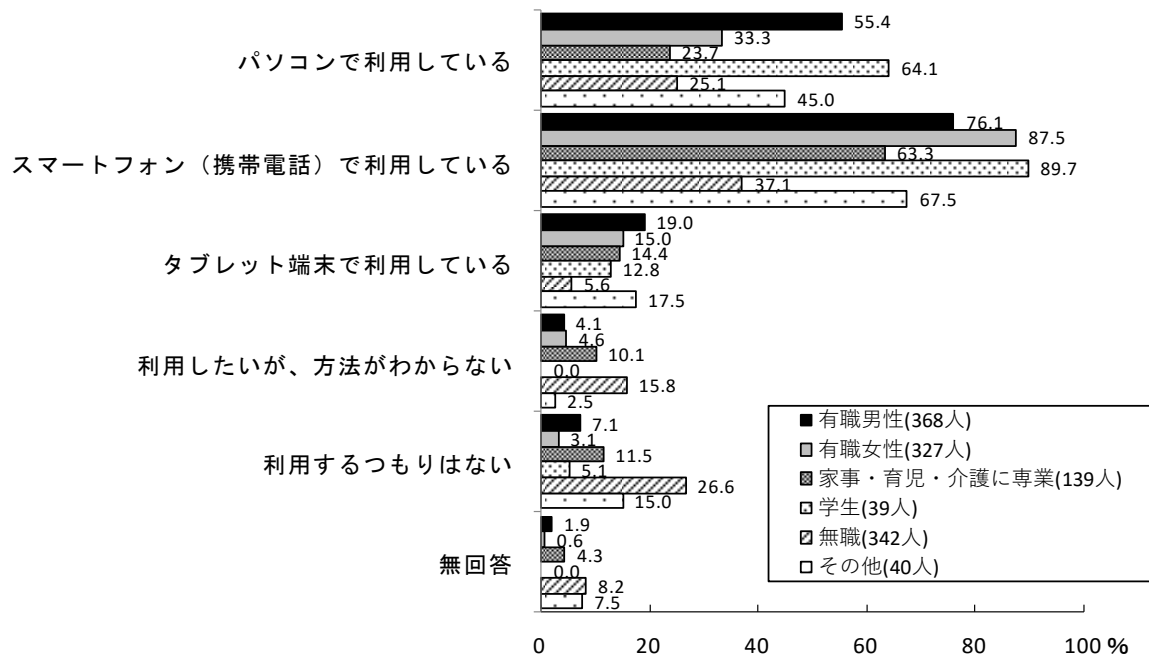
性別で見ると「パソコンで利用している」で男性（49.9%）が女性（27.8%）を22.1ポイントと差をつけ、大きく上回っています。また「タブレット端末で利用している」でも男性（16.0%）が女性（11.4%）を4.6ポイント上回っています。

### インターネットの利用状況（年代別）



年代別でみると「パソコンで利用している」は18歳・19歳で5割とやや高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は18歳・19歳、20歳代、30歳代、40歳代で9割以上を占め高くなっています。また「タブレット端末で利用している」は40歳代で28.2%と他の年代に比べ高くなっています。「利用したいが、方法がわからない」「利用するつもりはない」はそれぞれ70歳以上で最も高くなっています。

### インターネットの利用状況（職業別）



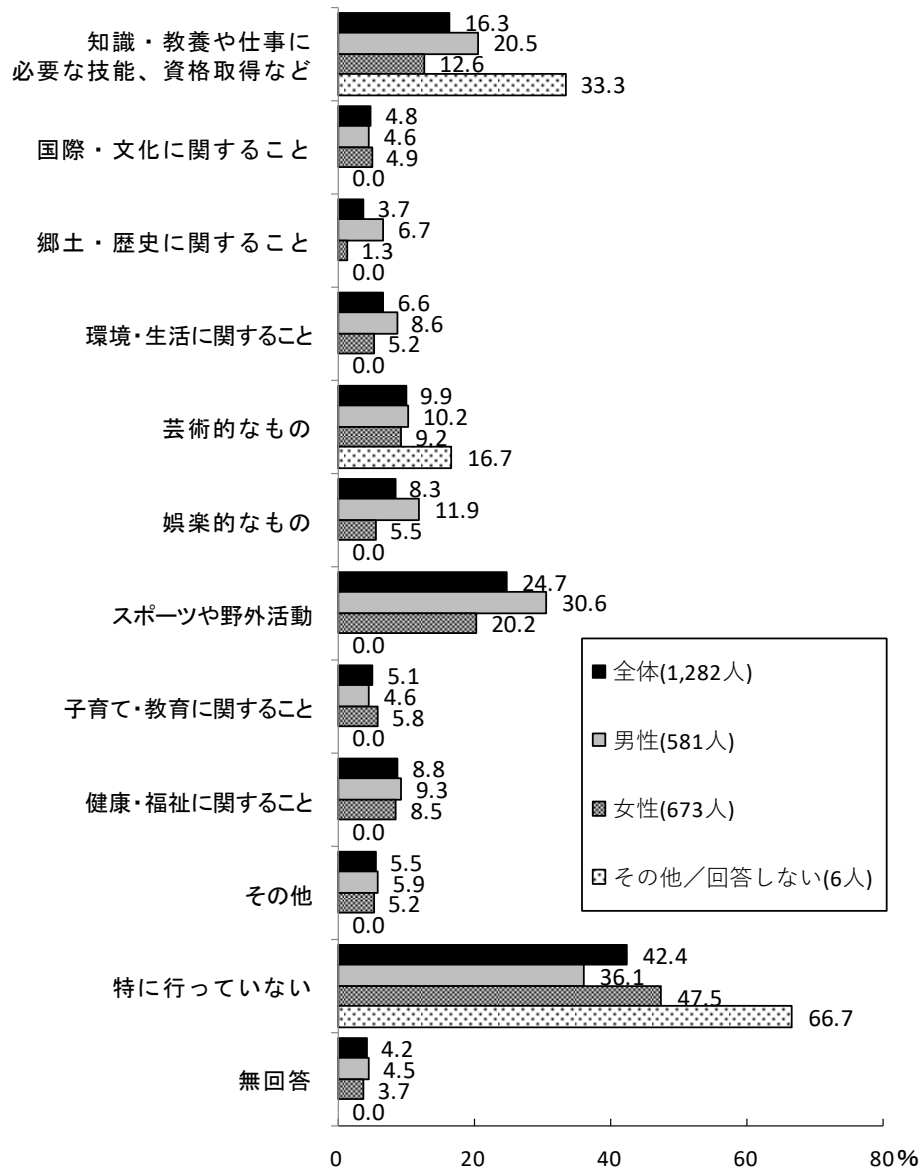
職業別でみると「パソコンで利用している」は学生で64.1%と最も高く、有職男性も55.4%と高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は学生(89.7%)、有職女性(87.5%)が高くなっています。

## 6-2 学習や趣味などの活動状況

- ◆「スポーツや野外活動」24.7%、  
「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」16.3%◆

問 20 あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

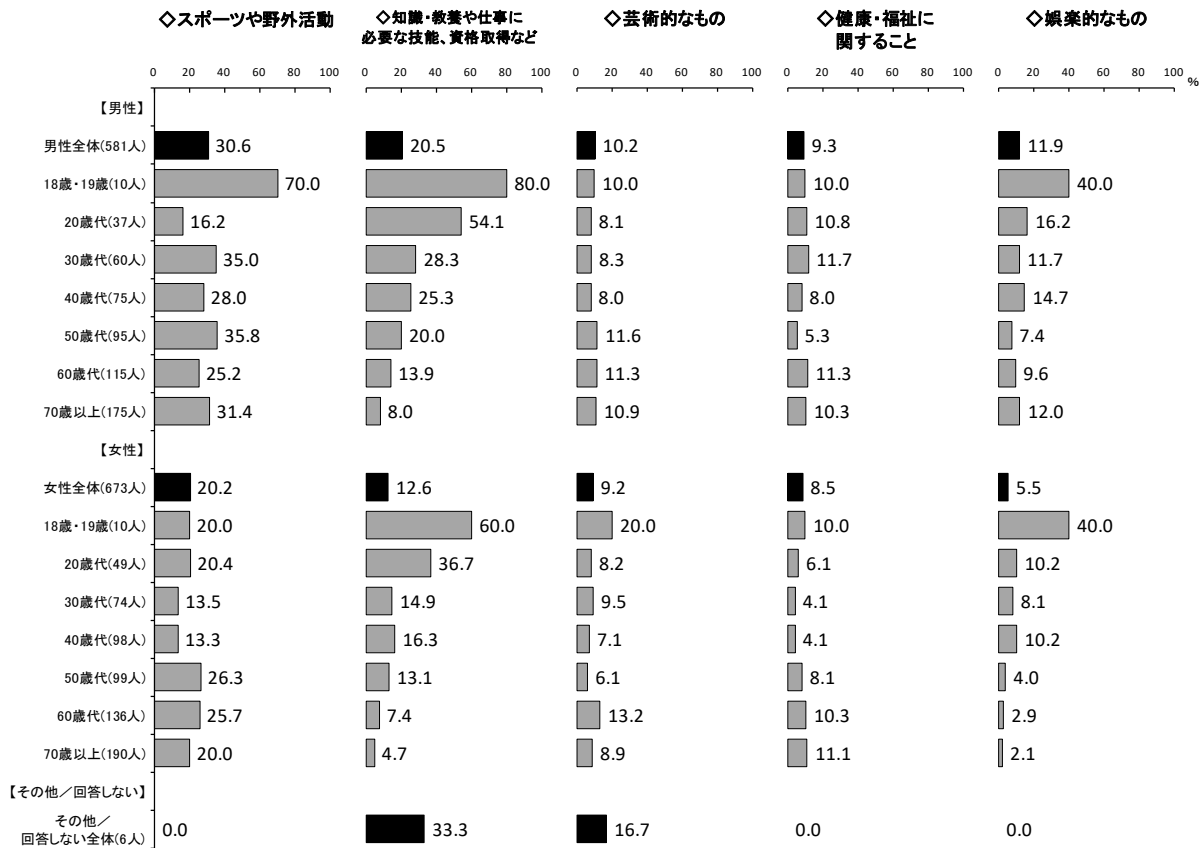
学習や趣味などの活動状況（全体・性別）



全体では「スポーツや野外活動」(24.7%)、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」(16.3%)、「芸術的なもの」(9.9%)、「健康・福祉に関すること」(8.8%)、「娯楽的なもの」(8.3%)と続いています。また「特に行っていない」は42.4%となっています。

性別で見ると「スポーツや野外活動」で男性(30.6%)が女性(20.2%)を10.4ポイント上回っています。また、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」で男性(20.5%)が女性(12.6%)を7.9ポイント、「郷土・歴史に関すること」で男性(6.7%)が女性(1.3%)を5.4ポイント、「娯楽的なもの」で男性(11.9%)が女性(5.5%)を6.4ポイント上回っています。

## 学習や趣味などの活動状況(上位5項目 性・年代別)



性・年代別で見ると「スポーツや野外活動」は男性の18歳・19歳で70.0%と最も高く、30歳代、50歳代、70歳以上も3割以上と高くなっています。女性では50～60歳代で2割台半ばと高くなっています。

「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」は男性・女性ともに年代が高くなるほど割合が低くなる傾向があり、男性の18歳・19歳で80.0%、女性の18歳・19歳で60.0%とそれぞれ最も高くなっています。

「芸術的なもの」は女性の18歳・19歳で20.0%と最も高くなっています。

「健康・福祉に関すること」はほとんど差がありません。

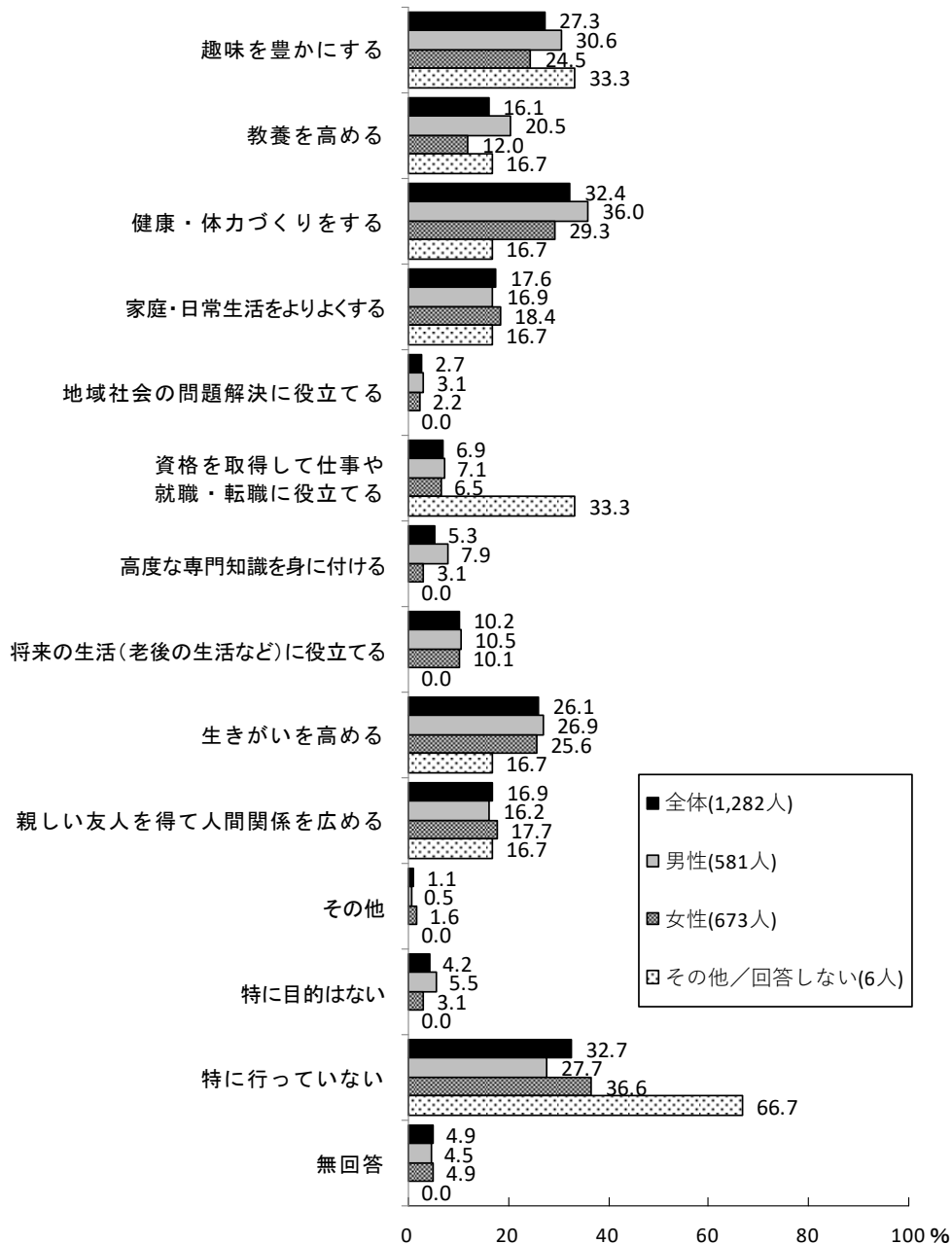
「娯楽的なもの」は男性・女性ともに18歳・19歳で40.0%と最も高くなっています。

### 6-3 生涯学習等の活動を行っている目的

#### ◆「健康・体力づくりをする」32.4%◆

問 21 あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

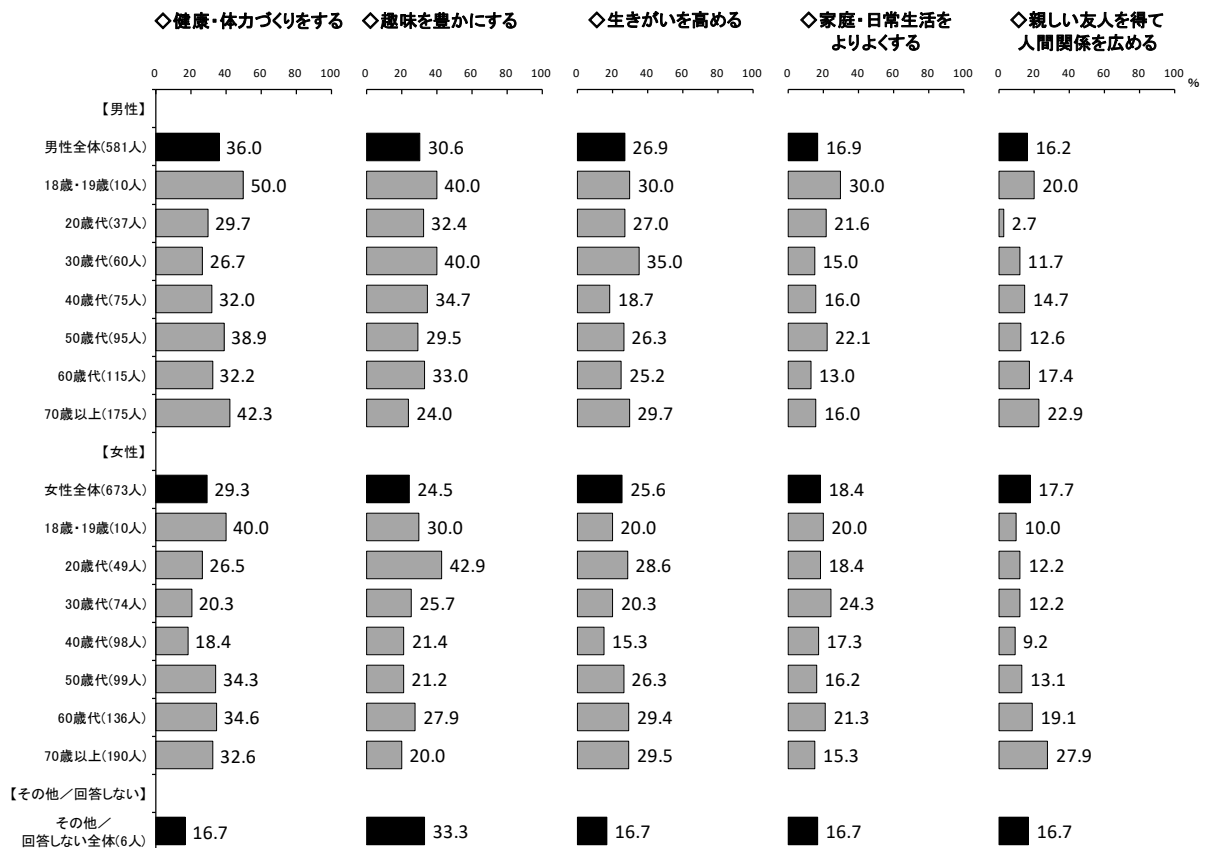
生涯学習等の活動を行っている目的(全体・性別)



全体では「健康・体力づくりをする」が32.4%で最も高く、次いで「趣味を豊かにする」(27.3%)、「生きがいを高める」(26.1%)、「家庭・日常生活をよりよくする」(17.6%)、「親しい友人を得て人間関係を広める」(16.9%)が続いています。また「特に行っていない」は32.7%となっています。

性別で見ると「趣味を豊かにする」で男性(30.6%)が女性(24.5%)を6.1ポイント、「教養を高める」で男性(20.5%)が女性(12.0%)を8.5ポイント、「健康・体力づくりをする」で男性(36.0%)が女性(29.3%)を6.7ポイント上回っています。

## 生涯学習等の活動を行っている目的（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「健康・体力づくりをする」は男性・女性ともに18歳・19歳で最も高く、男性で50.0%、女性で40.0%となっています。

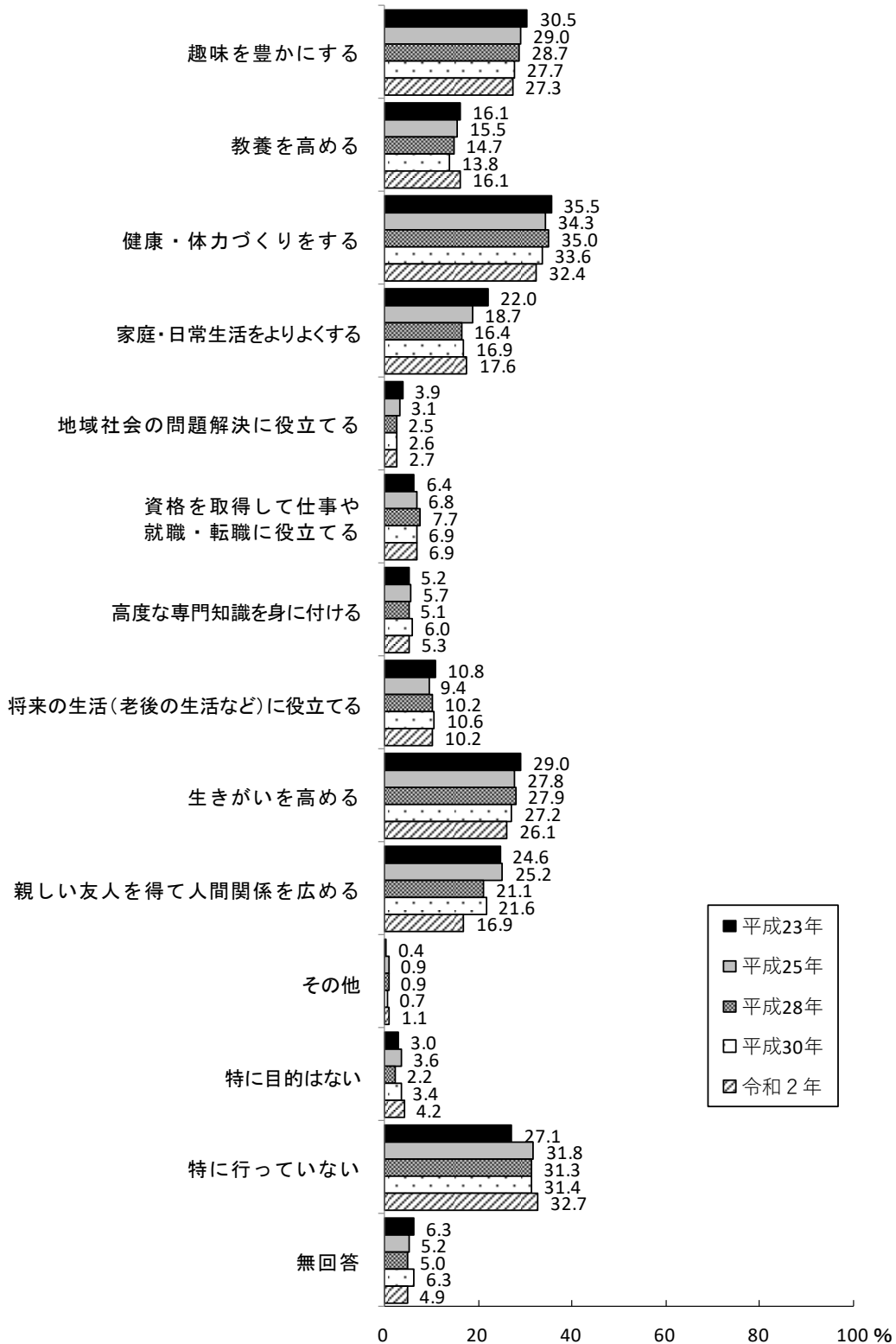
「趣味を豊かにする」は男性の18歳・19歳、30歳代、女性の20歳代で4割を上回っています。

「生きがいを高める」は男性の30歳代で3割台半ばと高くなっています。一方、男性・女性ともに40歳代で最も低く、男性が18.7%、女性が15.3%となっています。

「家庭・日常生活をよりよくする」は男性の18歳・19歳で30.0%、女性の30歳代で24.3%と最も高くなっています。

「親しい友人を得て人間関係を広める」は男性・女性とも年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上で22.9%、女性の70歳以上で27.9%とそれぞれ最も高くなっています。また、男性は18歳・19歳も20.0%と高くなっています。

生涯学習等の活動を行っている目的（経年比較）



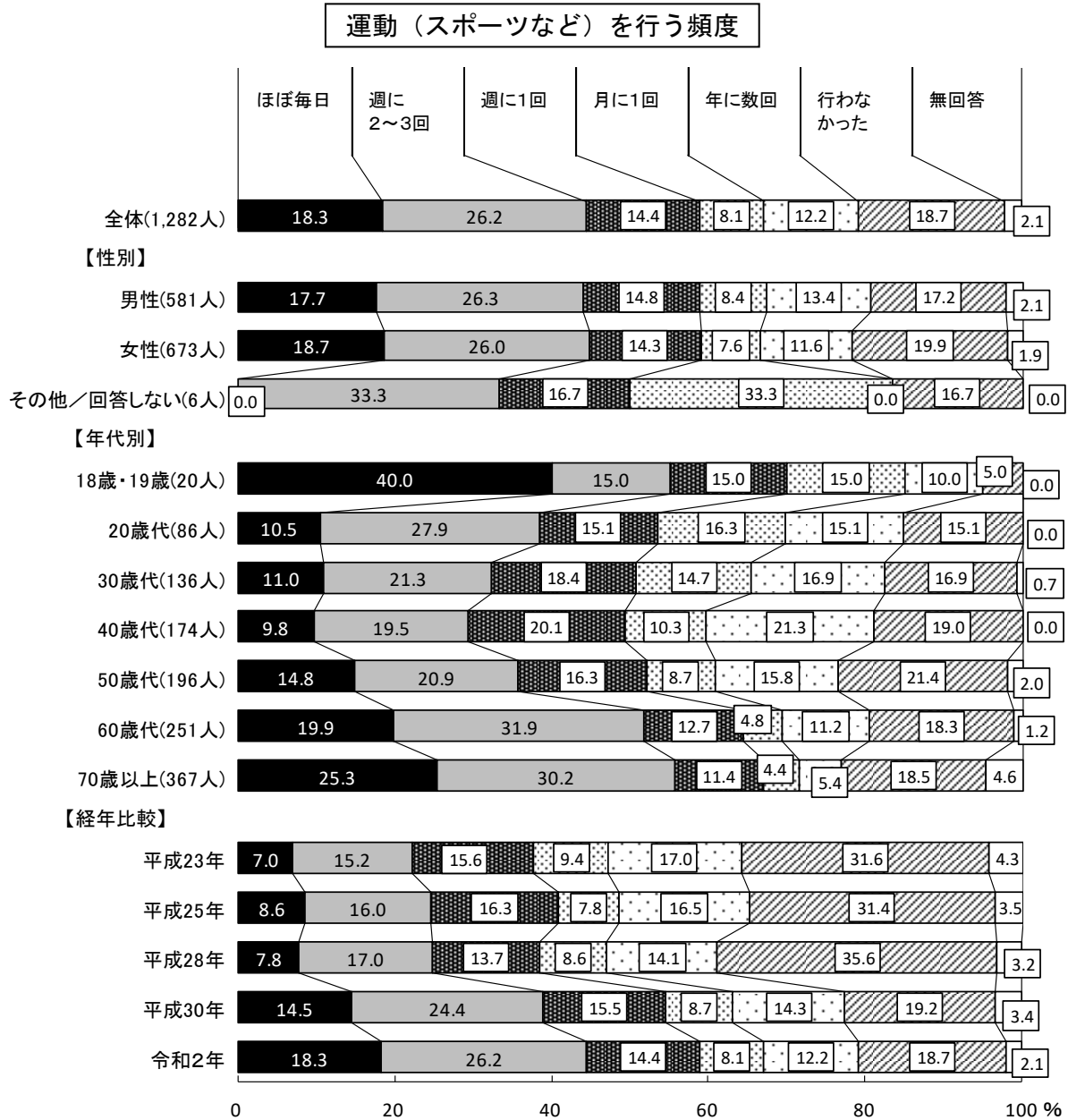
平成30年度調査と比較すると、「親しい友人を得て人間関係を広める」は4.7ポイント減少しています。

平成23年度調査以降、多くの項目で減少傾向となっているものの、ほとんど変化はありません。

## 6-4 運動（スポーツなど）を行う頻度

◆ “習慣的に運動を行っている” 58.9%◆

問 22 あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」を合わせた“習慣的に運動を行っている”は58.9%と高く、一方で「行わなかった」は18.7%と低く、習慣的に体を動かしている市民が多いことがわかります。

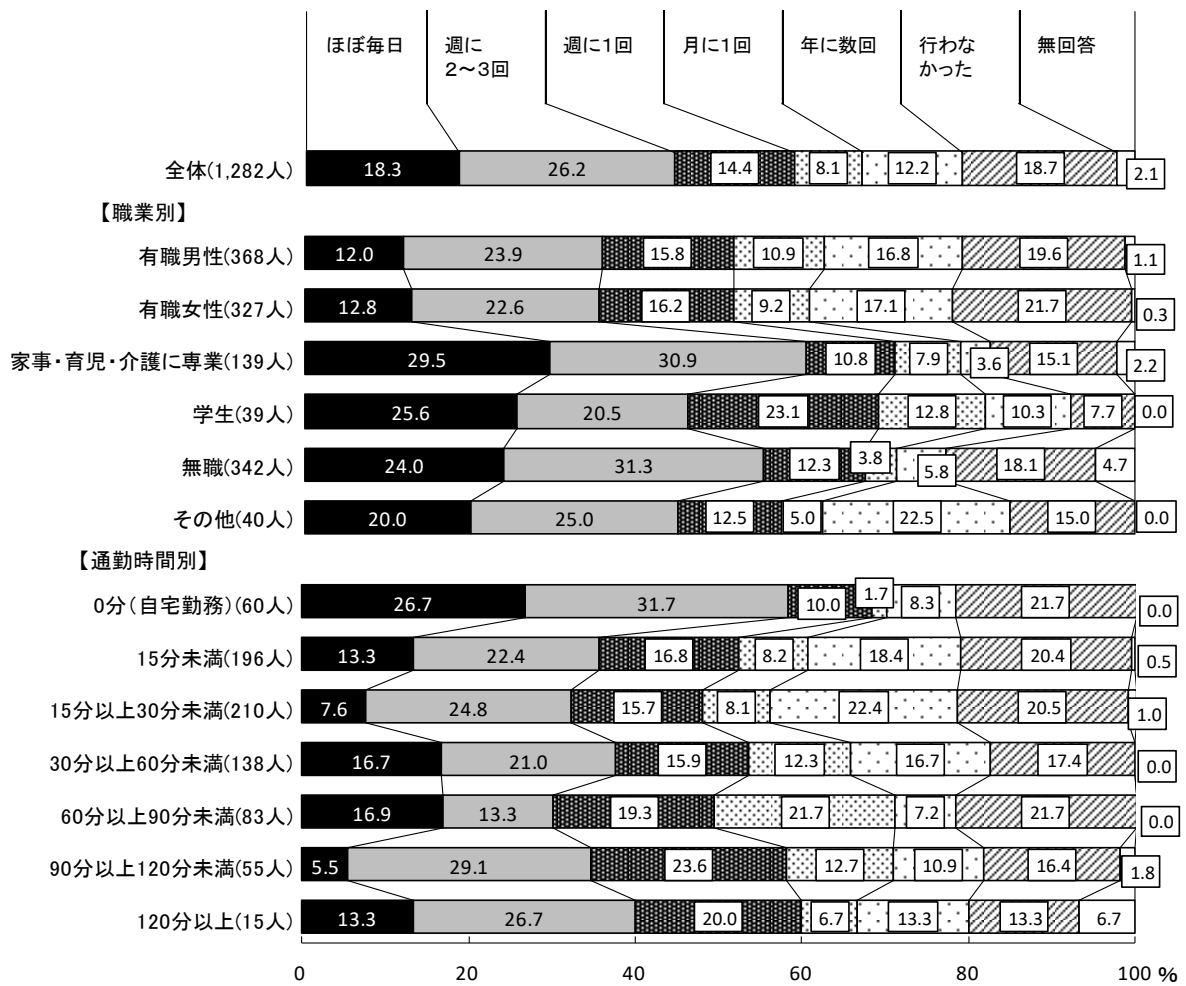
性別で見ると“習慣的に運動を行っている”は男性・女性ともに5割台後半となっており、ほとんど差はありません。

年代別で見ると“習慣的に運動を行っている”は18歳・19歳が70.0%と最も高くなっています。また、40歳代が49.4%と最も低く、それ以降は年齢が高くなるほど割合が高くなっており、70歳以上は66.9%となっています。

平成28年度調査以降、“習慣的に運動を行っている”は増加傾向にあり、平成30年度調査と比較すると4.5ポイント増加しています。



## 運動（スポーツなど）を行う頻度



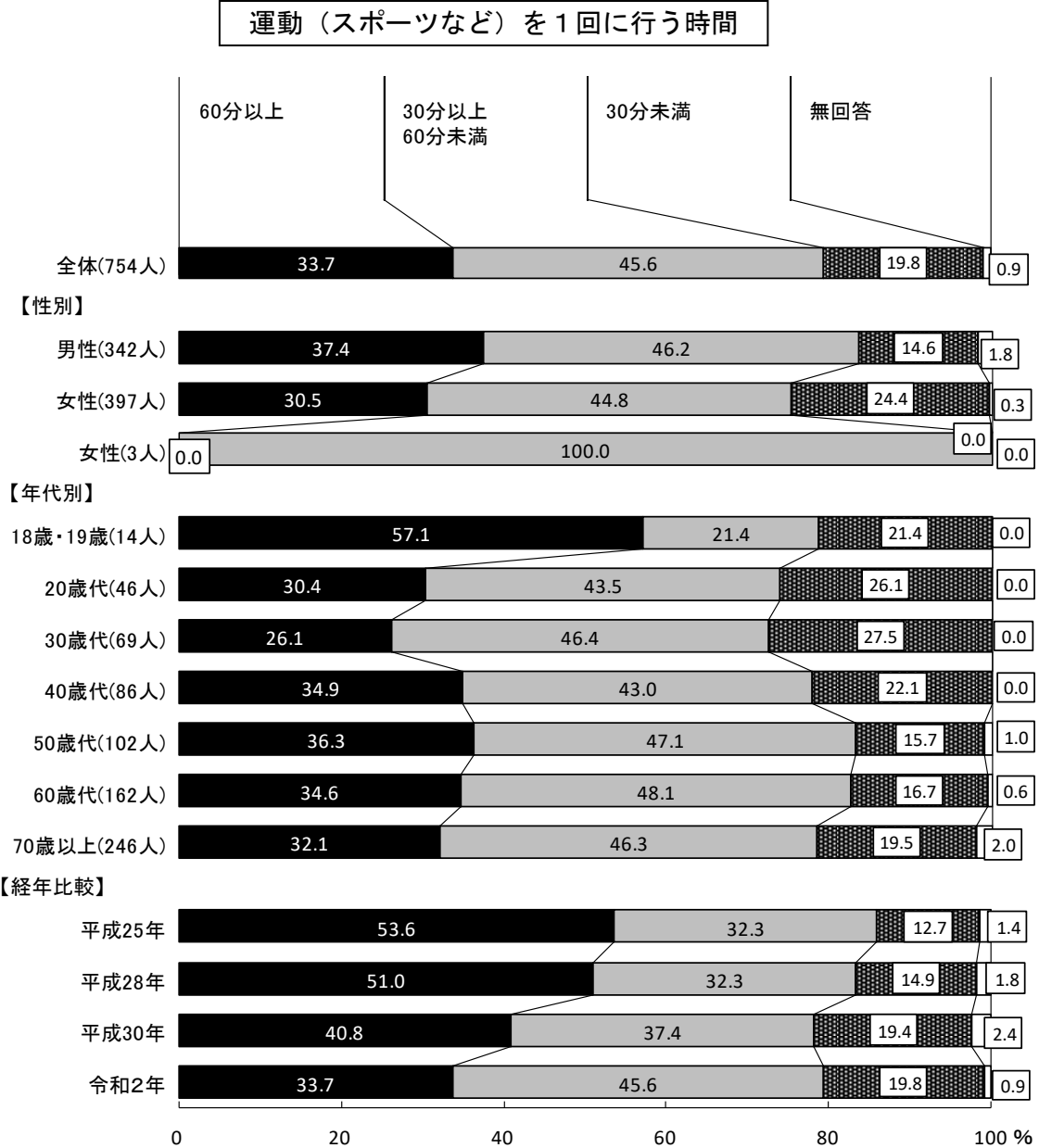
職業別でみると“習慣的に運動を行っている”は家事・育児・介護に専業が71.2%、学生が69.2%と高くなっています。最も低い有職女性でも、51.6%と過半数を超えています。

通勤時間別でみると“習慣的に運動を行っている”は通勤時間0分(自宅勤務)が68.4%と最も高く、通勤時間120分以上の長距離通勤層も60.0%となっています。通勤時間15分以上30分未満が48.1%と最も低くなっていますが、半数近いことから、全体として“習慣的に運動を行っている”ということがうかがえます。

## 6-5 運動（スポーツなど）を1回に行う時間

◆「60分以上」33.7%◆

(問22で「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」とお答えの方におたずねします)  
問22-1 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



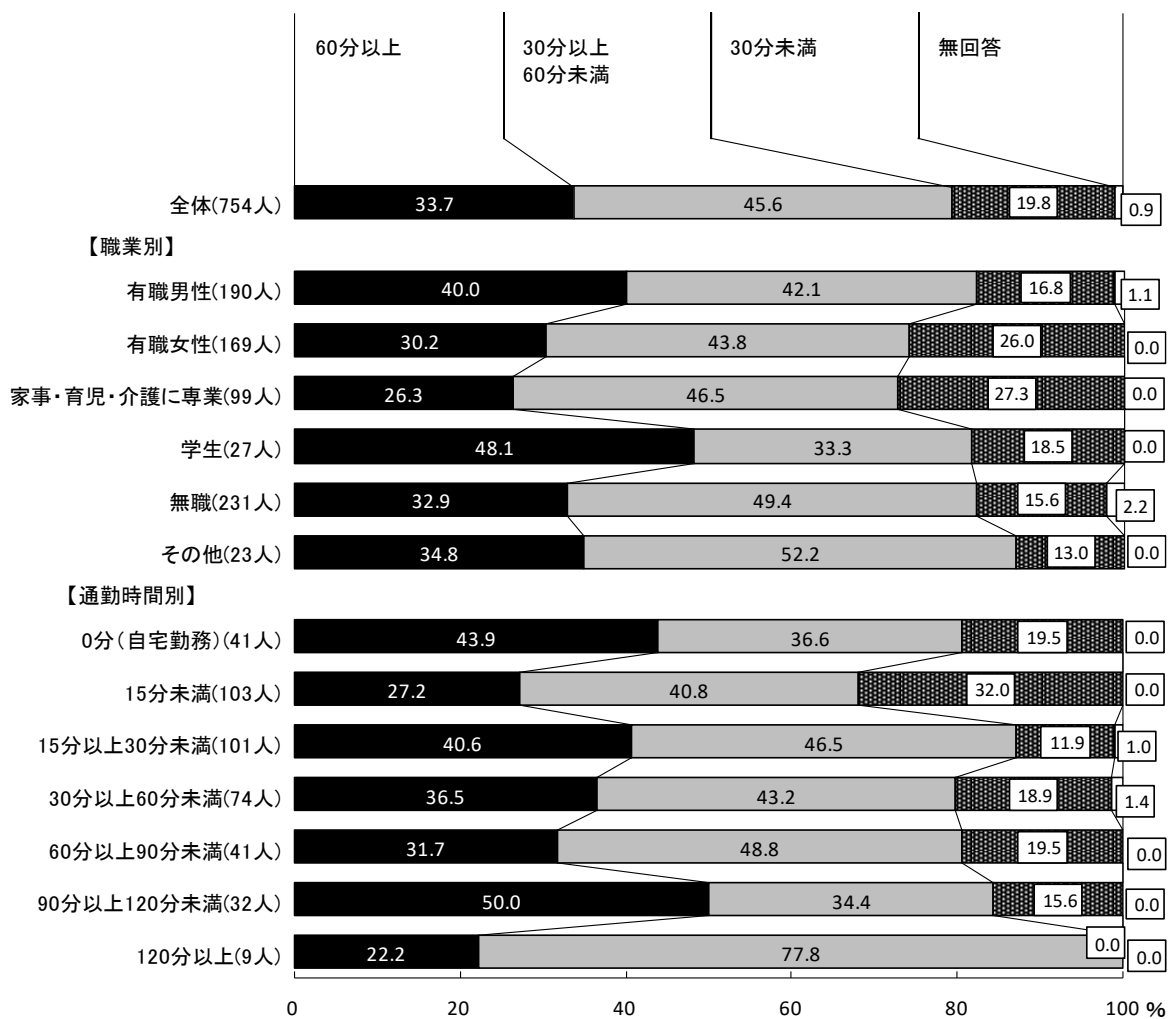
全体では「30分以上 60分未満」が45.6%と最も高く、「60分以上」が33.7%、「30分未満」が19.8%となっています。

性別で見ると、男性・女性とも「30分以上 60分未満」が最も高くなっています。「60分以上」では男性（37.4%）が女性（30.5%）を6.9ポイント上回っています。

年代別で見ると「60分以上」は18歳・19歳で57.1%と最も高く、30歳代で26.1%と最も低くなっています。「30分未満」は20歳代（26.1%）と30歳代（27.5%）が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると「60分以上」は7.1ポイント減少しており、平成23年度調査以降、減少傾向にあります。一方「30分以上 60分未満」は8.2ポイント増加しています。

### 運動（スポーツなど）を1回に行う時間



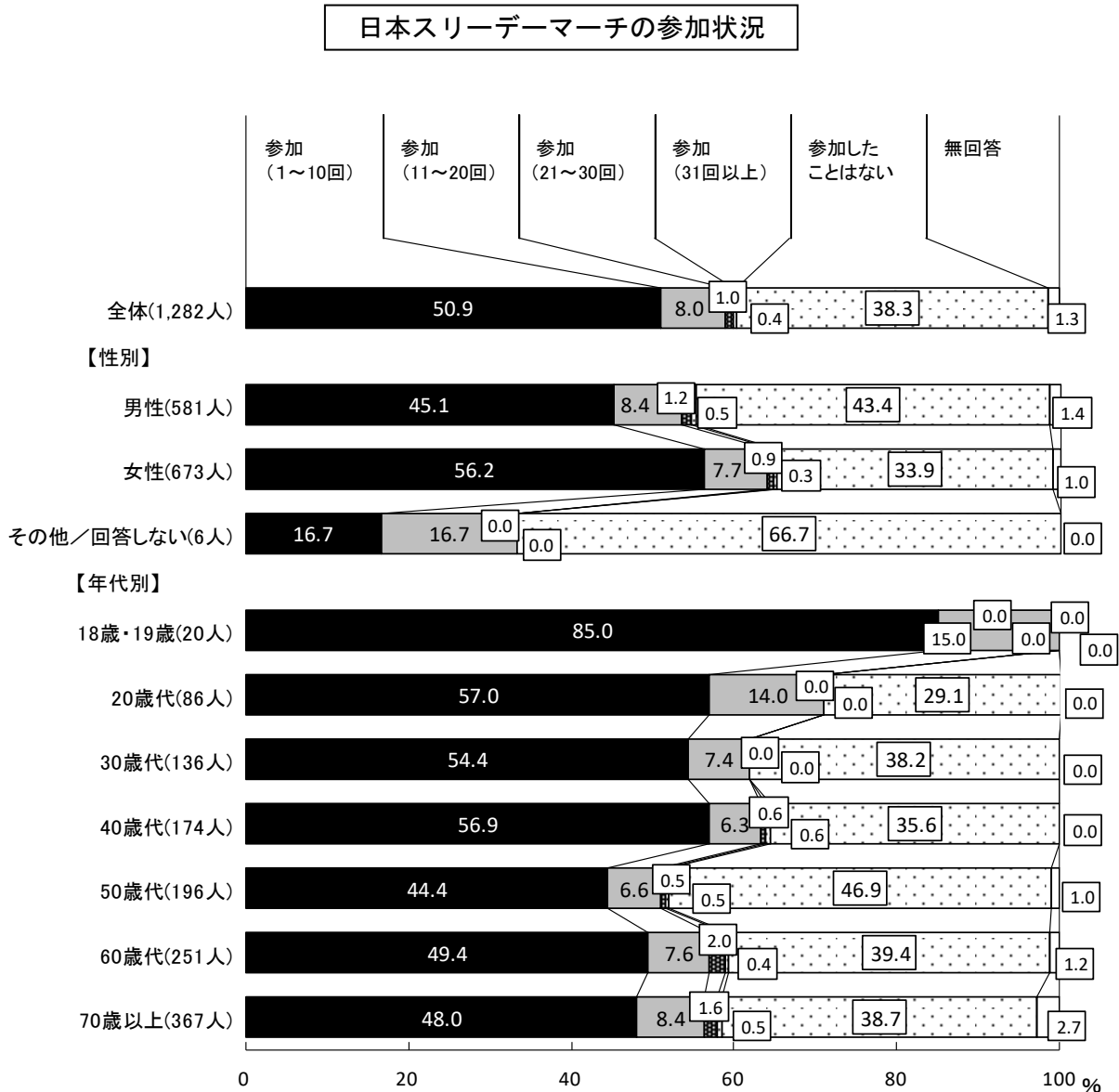
職業別でみると「60分以上」は学生で48.1%と最も高く、次いで有職男性が40.0%となっています。「30分未満」は有職女性(26.0%)と家事・育児・介護に専業(27.3%)で高くなっています。

通勤時間別でみると「60分以上」は通勤時間90分以上120分未満で50.0%と最も高く、次いで通勤時間0分(自宅勤務)が43.9%となっています。「30分以上60分未満」は通勤時間120分以上が77.8%、「30分未満」は通勤時間15分未満が32.0%とそれぞれ最も高くなっています。

## 6-6 日本スリーデーマーチの参加状況

◆ “参加したことがある（1～10回）” 50.9%、“参加したことはない” 38.3%◆

問 23 あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。※令和元年度と2年度の日本スリーデーマーチは中止ですので、平成30年度までの参加状況でお答えください。

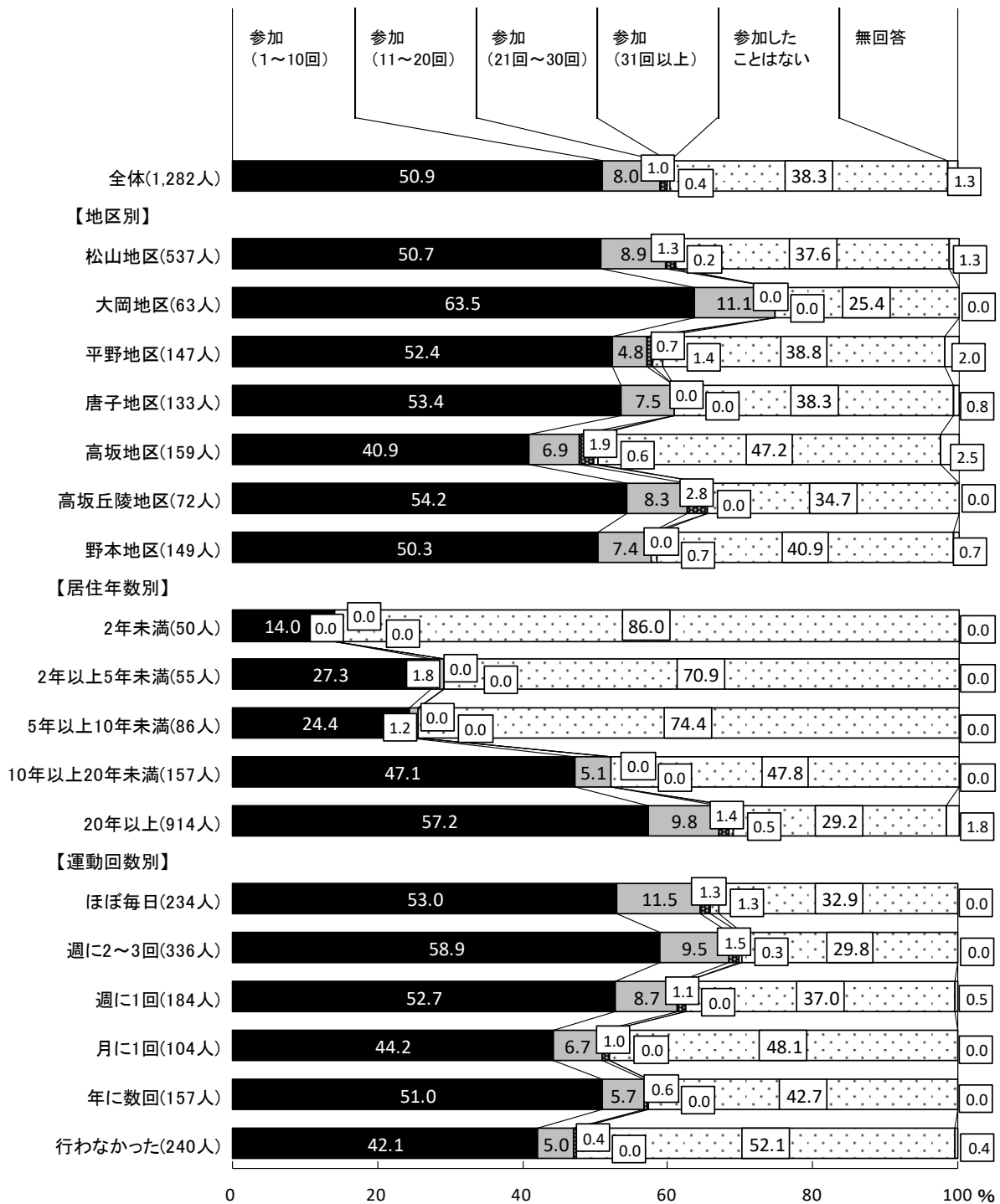


全体では「参加したことがある（1～10回）」が50.9%と最も高く、「参加したことはない」が38.3%、「参加したことがある（11～20回）」が8.0%と続いています。

性別で見ると、女性の「参加したことがある（1～10回）」が最も高く、女性（56.2%）が男性（45.1%）を11.1ポイント上回っています。

年代別で見ると「参加したことがある（1～10回）」は18歳・19歳で85.0%と最も高く、次いで20歳代で57.0%となっています。一方「参加したことはない」は50歳代で46.9%と最も高くなっています。

日本スリーデーマーチの参加状況（地区・居住年数・運動回数別）



地区別では「参加したことがある（1～10回）」は大岡地区が63.5%と最も高く、高坂地区を除く全ての地区で5割台となっています。一方「参加したことはない」は高坂地区が最も高く47.2%となっています。

居住年数でみると、年数が長くなるほど“参加したことがある”が増加しています。「20年以上」では68.9%の市民に参加経験があることがわかります。

運動回数別でみると“参加したことがある”は、週に2～3回が70.2%と最も高く、次いでほぼ毎日が67.1%、週に1回が62.5%となっています。一方「参加したことはない」は「行わなかった」で最も高く5割を超えています。

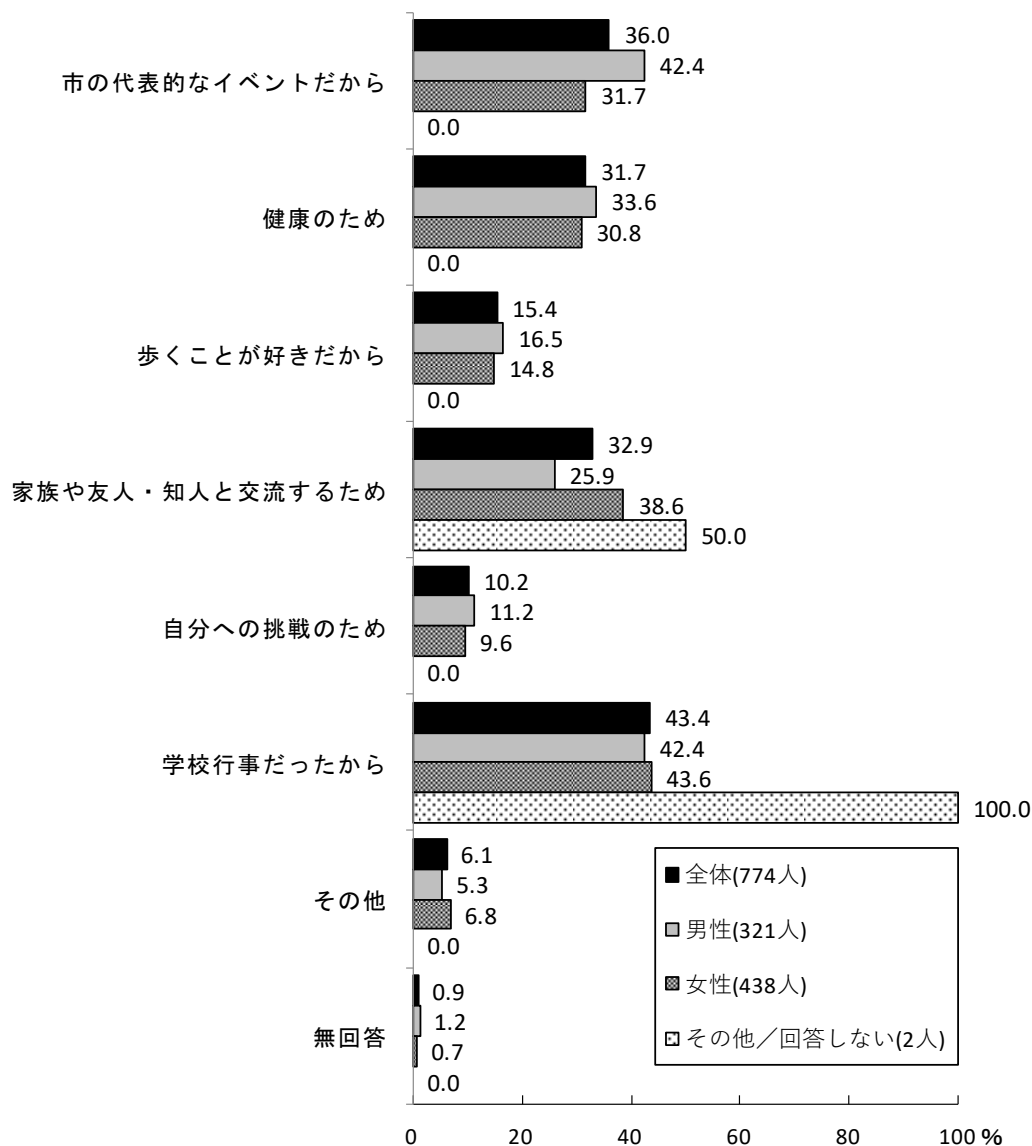
## 6-7 日本スリーデーマーチに参加した理由

◆「学校行事だったから」43.4%、「市の代表的なイベントだから」36.0%◆

(問 23 で参加したことがあるとお答えの方におたずねします)

問 23-1 日本スリーデーマーチに参加した理由は何ですか。あてはまるものをすべて  
選び、番号を○で囲んでください。

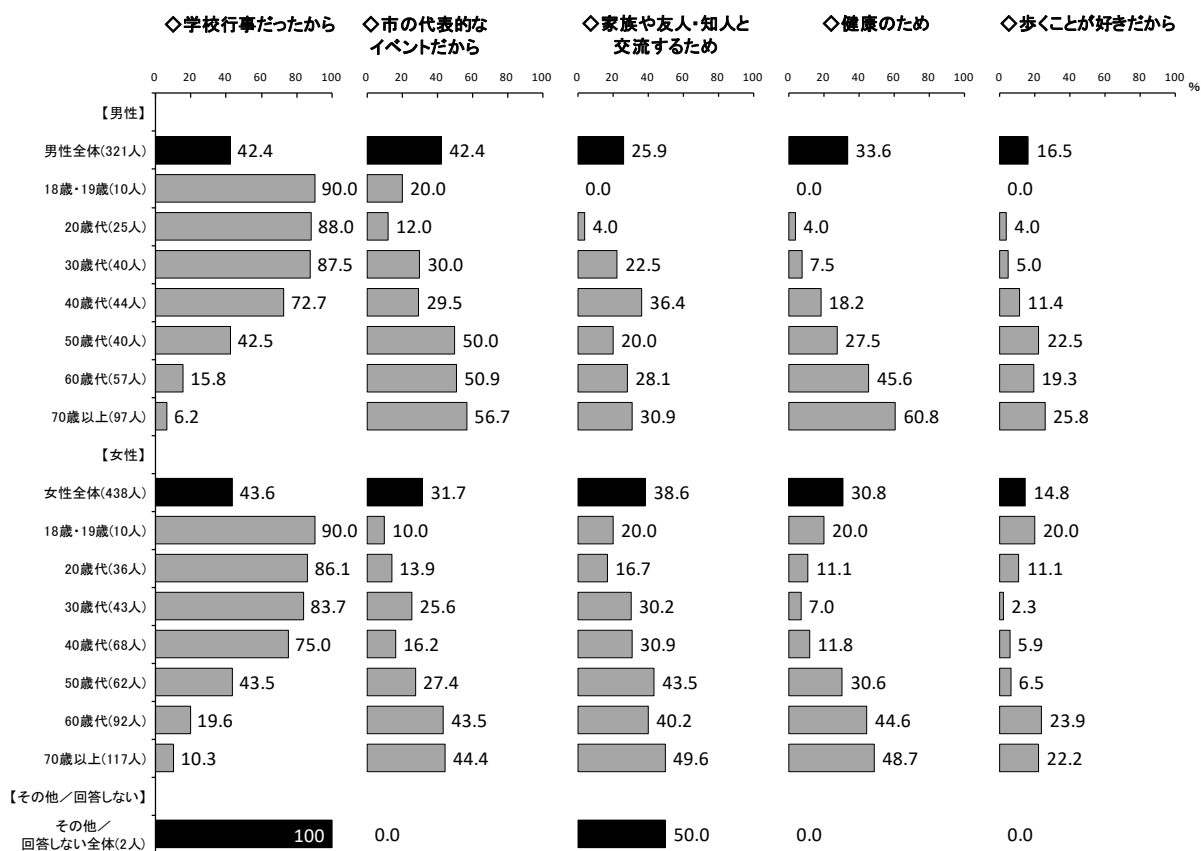
日本スリーデーマーチに参加した理由(全体・性別)



全体では「学校行事だったから」が43.4%で最も高く、次いで「市の代表的なイベントだから」(36.0%)、「家族や友人・知人と交流するため」(32.9%)、「健康のため」(31.7%)、「歩くことが好きだから」(15.4%)と続いています。

性別でみると「市の代表的なイベントだから」は男性(42.4%)が女性(31.7%)を10.7ポイント、「家族や友人・知人と交流するため」は女性(38.6%)が男性(25.9%)を12.7ポイント上回っています。

## 日本スリーデーマーチに参加した理由(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「学校行事だったから」は、男性・女性ともに18歳・19歳が9割と最も高く、次いで20歳代(男性88.0%、女性86.1%)、30歳代(男性87.5%、女性83.7%)が8割台が続いています。

「市の代表的なイベントだから」は、男性の60歳代以降で5割を上回っています。

「家族や友人・知人と交流するため」は、男性の40歳代で36.4%と最も高くなっています。女性の70歳以上では49.6%と約半数を占め最も高くなっています。

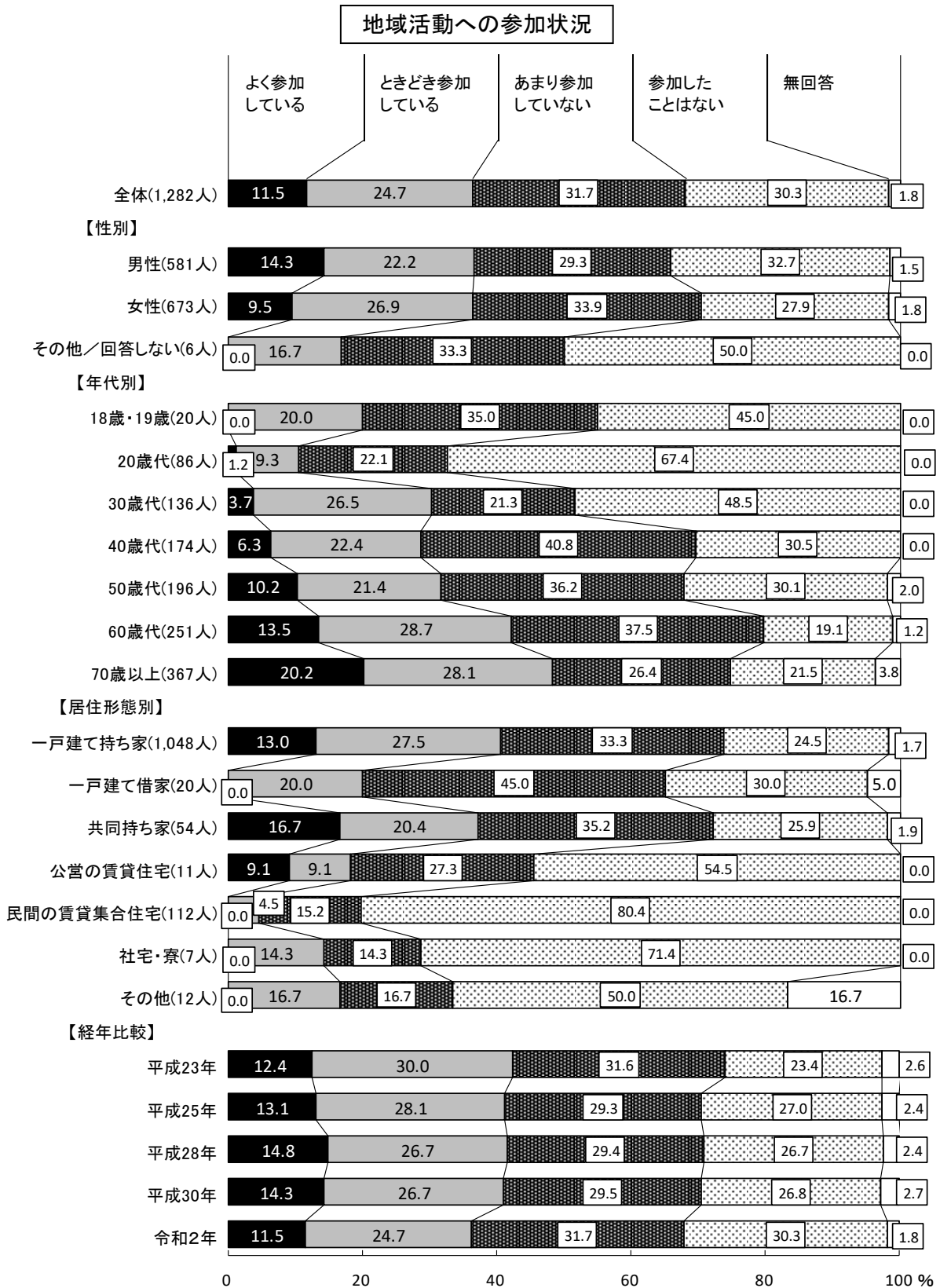
「健康のため」は、男性・女性ともに年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上で60.8%、女性の70歳以上で48.7%と最も高くなっています。

「歩くことが好きだから」は、男性の50歳代、70歳以上、女性の60歳代以降で2割を上回っています。

## 6-8 地域活動への参加状況

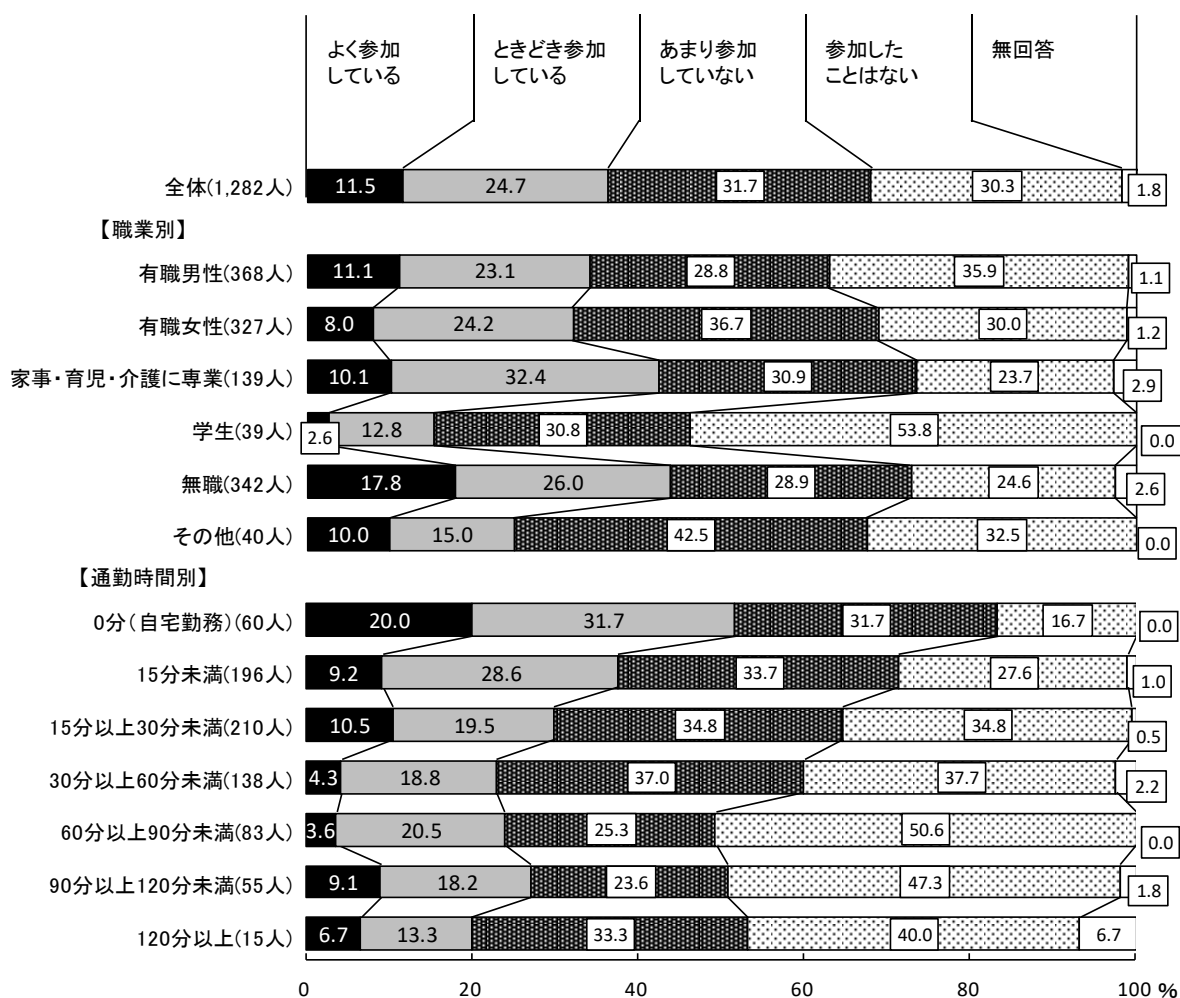
◆ “地域活動に参加している” 36.2%◆

問 24 あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。





### 地域活動への参加状況



全体では「よく参加している」は11.5%、「ときどき参加している」は24.7%で、両方を合わせた36.2%が“地域活動に参加している”と回答しています。

性別でみると“地域活動に参加している”は男性・女性ともに3割台となっており、ほとんど差はありません。

年代別でみると“地域活動に参加している”は年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、60歳代以降の年代で4割以上ですが、20歳代では10.5%と特に低くなっています。

居住形態別でみると“地域活動に参加している”は一戸建て持ち家で40.5%、共同持ち家で37.1%と高くなっていますが、民間の賃貸集合住宅では4.5%と低くなっています。

職業別でみると“地域活動に参加している”は家事・育児・介護に専業で42.5%、無職で43.8%と高くなっていますが、学生は15.4%と特に低くなっています。

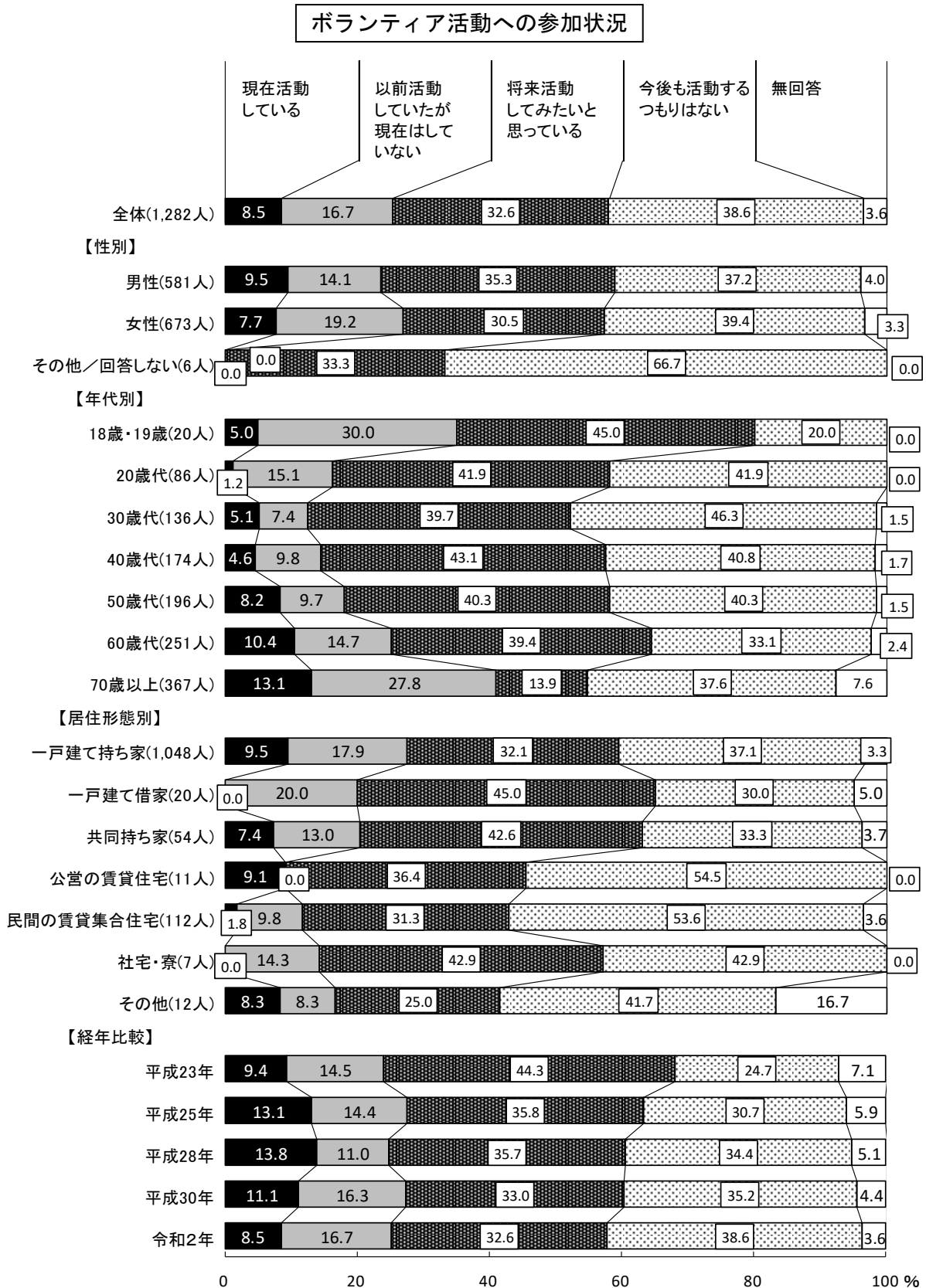
通勤時間別でみると“地域活動に参加している”は0分（自宅勤務）で51.7%と最も高く、次いで15分未満で37.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると“地域活動に参加している”は4.8ポイント減少しています。

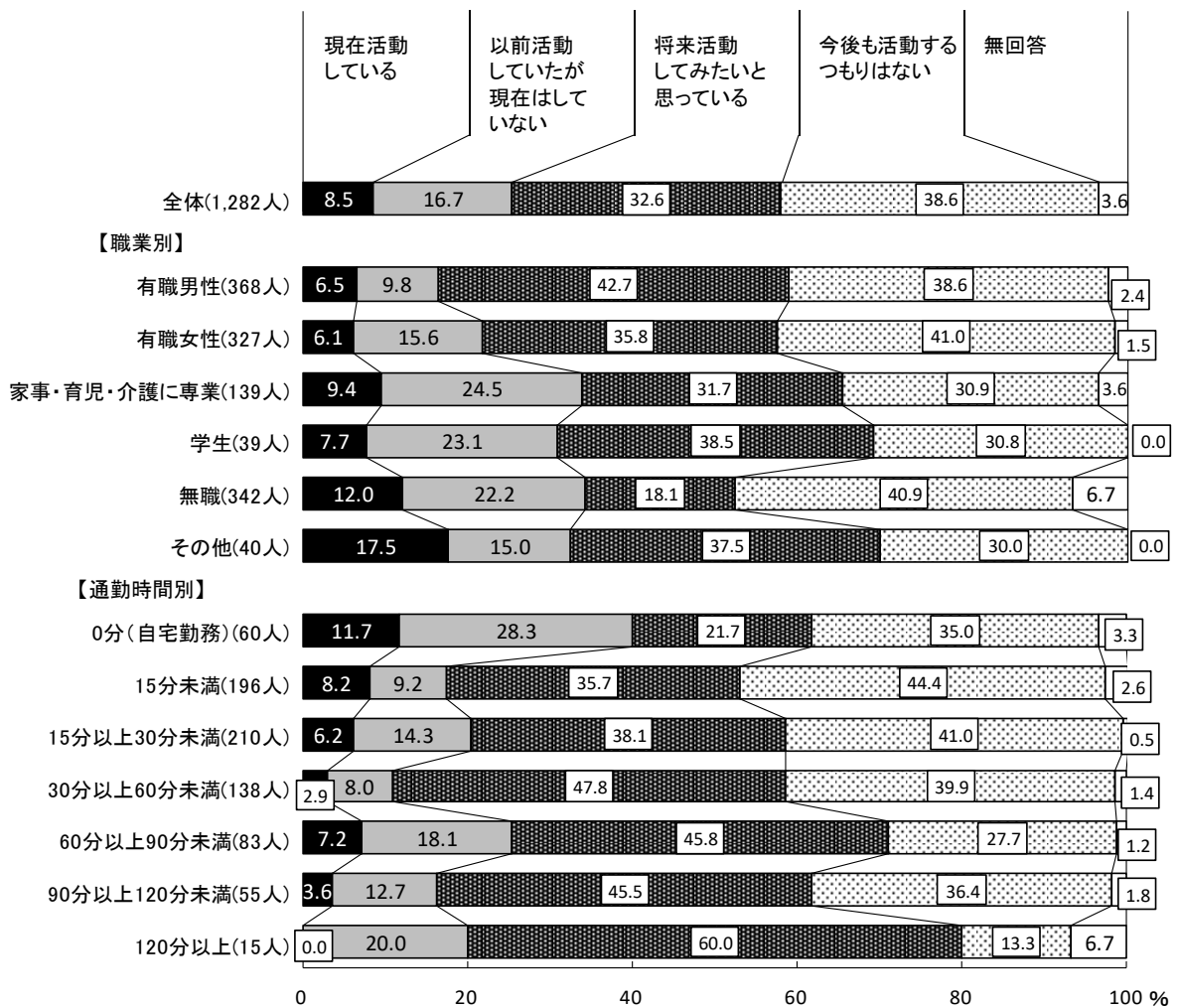
## 6-9 ボランティア活動への参加状況

◆ “活動経験がある” 25.2% ◆

問 25 あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



## ボランティア活動への参加状況



全体では「現在活動している」は 8.5%、「以前活動していたが現在はしていない」は 16.7%で、両方を合わせた 25.2%が“活動経験がある”と回答しています。

性別でみると“活動経験がある”は女性(26.9%)が男性(23.6%)を 3.3ポイント上回っています。

年代別でみると“活動経験がある”は 70歳以上で 40.9%と最も高く、次いで 18歳・19歳で 35.0%、60歳代で 25.1%と続いています。

居住形態別でみると“活動経験がある”は一戸建て持ち家(27.4%)、一戸建て借家(20.0%)、共同持ち家(20.4%)で比較的高くなっています。

職業別でみると“活動経験がある”は無職で 34.2%と最も高く、次いで家事・育児・介護に専業で 33.9%となっています。

通勤時間別でみると“活動経験がある”は 0分(自宅勤務)で 40.0%と最も高く、次いで 60分以上 90分未満で 25.3%となっています。0分(自宅勤務)は「現在活動している」でも 11.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると“活動経験がある”は 2.2ポイント減少しています。

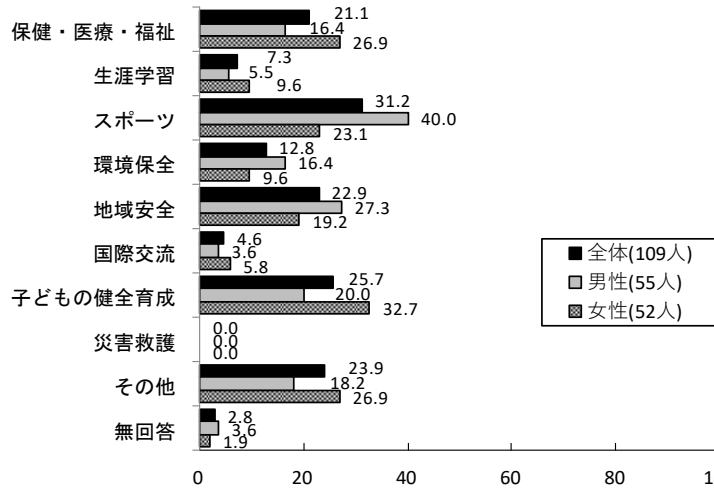
## 6-10 活動している分野

◆「スポーツ」31.2%、「子どもの健全育成」25.7%◆

(問 25 で「現在活動している」とお答えの方におたずねします)

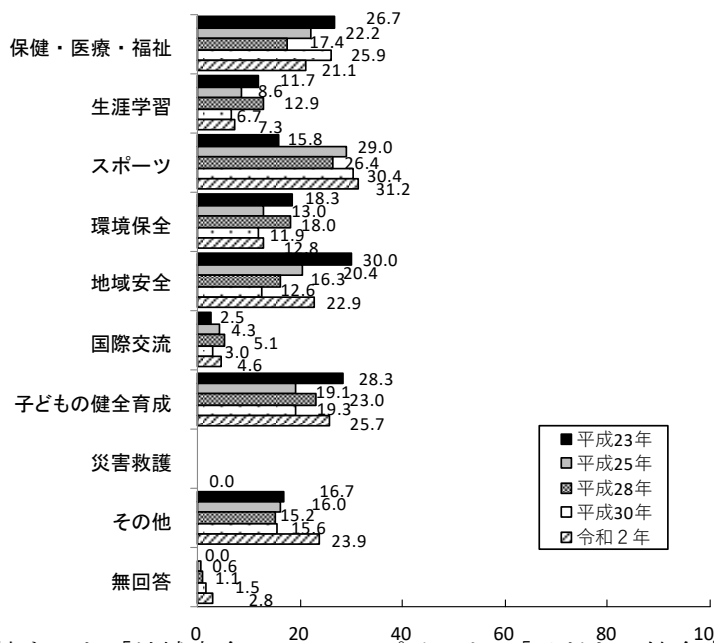
問 25-1 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

活動している分野（全体・性別）



全体では「スポーツ」が31.2%で最も高く、次いで「子どもの健全育成」(25.7%)、「地域安全」(22.9%)、「保健・医療・福祉」(21.1%)、「環境保全」(12.8%)と続いています。また、「その他」は23.9%となっており、音楽・合唱関係や慰問活動などが含まれています。性別で見ると「スポーツ」で男性(40.0%)が女性(23.1%)を16.9ポイント上回っています。一方「保健・医療・福祉」では女性(26.9%)が男性(16.4%)を10.5ポイント、「子どもの健全育成」では女性(32.7%)が男性(20.0%)を12.7ポイント上回っています。

活動している分野（経年比較）



平成30年度調査と比較すると「地域安全」は10.3ポイント、「子どもの健全育成」は6.4ポイント増加しています。一方「保健・医療・福祉」は4.8ポイント減少しています。

平成23年度調査以降「スポーツ」は増加傾向にあり、今年度調査では31.2%と最も高くなっています。